



TCU-COM

p.01 後援会長挨拶

p.02 平成27年度 評議員会が開催される

p.03 平成26年度 事業報告

p.07 平成26年度 決算

p.08 平成27年度 役員・評議員

p.09 平成27年度 事業計画

p.10 平成27年度 予算

p.11 Campus Topics

p.15 平成27年度「大学と保護者との連絡会」のお知らせ

後援会長挨拶

なぞなぞ

本年度、後援会長を仰せつかりました伊藤です。

保護者の皆様、大学関係の皆様には、後援会に対し日頃から多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

後援会事務局からの原稿依頼には、「後援会の会員に対するメッセージ、学生時代の思い出、今の学生に期待すること等」と記載されておりますが、もとより浅学菲才の身、文才更に恵まれずとあっては、格調高き挨拶文など思いもよらず、昨年同様、雑文を書き散らすことで紙幅を埋めることをご容赦ください。

小学校に上がるころ、子供たちは「なぞなぞ」に凝るようです。頓智の面白さが理解できるようになる年頃なのでしょうか、親に「なぞなぞごっこ」を迫ります。思うに、答えに窮する親の姿を見て、日ごろの小言に対する憂さを晴らそうとの魂胆でしょう。しかし、こちら「通ってきた道」ですから、ほとんどの問題の答えは分かります。決して子供に花を持たせるようなことはしません。家内に「大人げない」と言われようと、子供に「降参」というのは男のプライドが許しません。

すると、こんな問題が出てきました。

「私たちは、何故、毎日学校に行くのでしょうか？」

はて、私たちの時代にこのような問題はありませんでした。さすがに答えに窮しておりますと、子供は満面の笑みを浮かべて「もう降参?教えてあげようか」と言いつつ得意げに一言、

「答えはね、学校が家に来てくれないから!」

ここで怒るのはまさに「大人げない」ので苦笑するしかありませんが、一方でなるほど感心したのも事実です。「何故、学校に行くのか?」と問われれば、学校に行く「目的」を答えなければならないというのが大人の発想です。そして、この発想に囚われる限りこの答えは出てきません。子供たちも成長して「なぞなぞごっこ」とも縁がなくなりましたが、遠い昔の一場面です。

誠に微力ながら、今後とも後援会の運営・発展に尽力させていただきます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



東京都市大学後援会
平成27年度会長

伊藤 秀樹

平成27年度 評議員会が開催される

東京都市大学に於いて、平成27年度の評議員会が、役員・理事33名(内委任出席10名)評議員79名(内委任出席10名)の112名、加えて、後援会事務局13名の出席のもとで開催されました。

評議員会の開催にあたり、平成26年度会長の伊藤氏より、挨拶並びに後援会の概要説明があり、続いて後援会事務局から事務局体制、平成27年度の後援会入会者数及び会員数について説明があった後、議事に入りました。

議事は議案ごとに事務局より説明・提案され、その後、この説明に基づいて審議した結果、原案の通り承認されました。

評議員会終了後に行われた大学教職員との懇談会において、三木学長より後援会への謝辞と、大学の近況報告がありました。



議事を進める渡辺学生部長(写真中央)



審議風景(世田谷キャンパス21C教室にて)

東京都市大学後援会 平成27年度 評議員会

平成27年5月30日(土)午後2時～
世田谷キャンパス 2号館1階 21C教室

1. 開会の辞 伊藤会長
2. 平成27年度入会者数及び会員数【報告】
3. 議 事
 - 第1号議案 平成26年度事業報告について
 - 第2号議案 平成26年度決算報告について
 - 2-1 平成26年度決算報告
 - 2-2 平成26年度緊急奨学金決算報告
 - 第3号議案 平成27年度役員・評議員(案)について
 - 第4号議案 平成27年度事業計画(案)について
 - 第5号議案 平成27年度予算(案)について
 - 5-1 平成27年度予算(案)
 - 5-2 平成27年度緊急奨学金予算(案)
4. その他
5. 閉会の辞 澁谷副会長

〈平成27年度入会者数及び会員数〉 平成27年4月15日現在

学部	学科	学年	1年生入会総数	2年生会員数	3年生会員数	4年生会員数	合計
工学部	機械工学科		126(3)	118(1)	150	118	512(4)
	機械システム工学科		108(2)	109	117	114(1)	448(3)
	原子力安全工学科		38	38	43	39	158(0)
	医用工学科(生体医工学科)		67	65	59	52	243(0)
	電気電子工学科		108(3)	132(1)	137	104(1)	481(5)
	エネルギー化学科		71(1)	101(1)	71	83	326(2)
	建築学科		115(3)	119	154	109	497(3)
都市工学科		111(1)	107	99	110	427(1)	
知 識 工 学 部	情報科学科		100(1)	118	118(1)	102(1)	438(3)
	情報通信工学科(情報ネットワーク工学科)		70	75	89	58(2)	292(2)
	応用情報工学科		—	—	—	1	1
	経営システム工学科		79	91	110	73(2)	353(2)
	自然科学科		32	32	44	37	145(0)
環境情報 学 部	環境情報学科		—	—	—	250(5)	250(5)
	情報メディア学科		—	—	—	287(2)	287(2)
環 境 学 部	環境創生学科		103	93	112(1)	—	308(1)
	環境マネジメント学科		72(1)	72	140	—	284(1)
メディア 情報学部	社会メディア学科		92	108	101	—	301(0)
	情報システム学科		103	116(1)	121	—	340(1)
都市生活学部	都市生活学科		175(1)	170(2)	187	181(2)	713(5)
人間科学部	児童学科		103	101	110	113	427
合 計			1,673(18)	1,765(6)	1,962(2)	1,831(18)	7,231(40)

専攻	学年	1年	2年	3年	4年	5年	合計
機械工学専攻		28	24	—	1	—	53
機械システム工学専攻		27	32	1	—	2	62
電気電子工学専攻		26(1)	30(1)	1	—	2(1)	59(3)
生体医工学専攻		22	25	—	—	—	47
情報工学専攻		28(1)	52(3)	1	1	1	83(4)
建築学専攻		28(1)	37	1	1	1	68(1)
都市工学専攻		18(1)	17	—	—	1	36(1)
システム情報工学専攻		22	18	—	—	1	41
エネルギー化学専攻		20	21	—	—	—	41
共同原子力専攻		16(1)	24	—	—	—	40(1)
環境情報学専攻		16(2)	6	2	1	1	26(2)
都市生活学専攻		4	5(1)	—	—	—	9(1)
合 計		255(7)	291(5)	6	4	9(1)	565(13)

()は留学生内数

事業

1. 正課外教育援助

(1-1) 課外活動援助

<1-1-1> 学生団体連合会への援助

団体名	金額 (円)
1 学生団体連合会本部	2,020,000
2 学生団体連合会横浜分室	400,000
3 学生団体連合会等々力分室	290,000
4 体育会	6,000,000
5 文化団体連合会	2,720,000
6 同好会連合	530,000
7 学科研究会連合	610,000
8 新聞会	780,000
9 吹奏楽団	1,510,000
10 放送会	830,000
11 世田谷祭運営委員会	300,000
12 世田谷祭実行委員会	2,000,000
13 横浜祭運営委員会	320,000
14 横浜祭実行委員会	1,900,000
15 等々力祭運営委員会	240,000
16 等々力祭実行委員会	1,300,000
合計	21,750,000

<1-1-2> 新規学科研究会等への援助

団体名	金額 (円)
環境創生学科学学生会	300,000
環境マネジメント学科学学生会	300,000
社会メディア学科学学生会	300,000
情報システム学科学学生会	300,000
合計	1,200,000

<1-1-3> 一般援助

募集分	金額 (円)
第1回 募集分	2,497,574
第2回 募集分	947,860
第3回 募集分	1,372,495
TCUイベントプロジェクトサポート	285,120
合計	5,103,049

団体名	金額 (円)
1 ソフトテニス部 (関東理工系大学ソフトテニス選手権大会優勝)	30,000
2 (大会の成績による顕彰に対する補助)	100,000
3 フットサル部 (審判登録料の補助)	10,500
4 (関東大学フットサルリーグ参加費の補助)	21,600
5 (学生新人男子大会、学生男子スーパーB、学生男子団体の部にて優勝)	20,000
6 (シード権の獲得に対する補助)	10,000
7 ワンデリング (スポーツ保険料の補助)	17,575
8 スキー同好会 (大会登録料及び大会参加費に対する補助)	82,000
9 (大会登録料及び大会参加費に対する補助)	66,500
10 (練習場使用料の補助)	60,000
11 剣道部 (各連盟への登録費等の補助)	77,400
12 (大会参加費の補助)	53,200
13 アメリカンフットボール部 (スポーツ保険料の補助)	142,500
14 里山倶楽部Eco-Works (学内保全林苑部活動の保険料の補助)	1,900
15 ラグビー部 (障害保険補助)	4,950
16 (個人登録料の補助)	45,000
17 (スポーツ保険料の補助)	18,500
18 空手道部 (連盟登録料の補助)	68,000
19 (大会参加費の補助)	34,100
20 合気道部 (個人登録料の補助)	50,000
21 バスケットボール部 (選手登録費の半額補助)	43,250
22 陸上競技部 (日本学生陸上競技連合(東日本)陸上競技連盟登録料の補助)	125,500
23 卓球部 (春季関東学生リーグ大会参加費の補助)	26,500
24 (個人登録料の補助)	26,200
25 水泳部 (大会エントリー費の補助)	69,500
26 (練習場使用料)	137,280
27 (連盟登録料の補助)	45,000
28 アイスホッケー部 (大会参加費及び試合費の補助)	163,500
29 (スケートリンク使用料の補助)	411,400
30 写真部 (ギャラリー使用料の補助)	37,800
31 フォークソング部 (卒業ライブのホールレンタル代の補助)	80,000
32 バチエラーセブン (定期演奏会でのホールレンタル代の補助)	65,000
33 アカペラサークルGroove (冬ライブのホールレンタル代の補助)	36,575
34 学生団体連合会等々力分室 (印刷機リース費用の補助)	316,344
合計	2,497,574

団体名	金額 (円)
1 ラグビー部 (理工系リーグにて優勝)	100,000
2 空手道部 (第34回全国空手道選手権大会優勝)	30,000
3 (大会参加費の補助)	34,100
4 ヨット部 (艇体保険料の補助)	90,070
5 アイスホッケー部 (スポーツ保険の補助)	24,050
6 (大会参加費及び試合費の補助)	111,000
7 陸上競技部 (連盟登録料の補助)	26,550
8 (チーム登録料及び選手登録料の補助)	82,200
9 ソフトボール部 (大会参加費の補助)	13,700
10 (練習場使用料の補助)	5,200
11 剣道部 (各連盟への登録料等の補助)	4,300
12 (大会参加費の補助)	31,600
13 水泳部 (大会エントリー費の補助)	27,500
14 (練習場使用料の補助)	36,960
15 写真部 (新人写真展の会場費の補助)	45,630
16 フォークソングクラブ (ホールレンタル代補助)	85,000
17 吹奏楽団 (定期演奏会のホール代及び設備費の補助)	200,000
合計	947,860

団体名	金額 (円)
1 バレーボール部 (6部から5部に昇格)	100,000
2 (2部から1部に昇格)	100,000
3 (連盟登録料の補助)	23,000
4 硬式庭球部 (連盟登録料の補助)	50,750
5 (個人エントリー費の補助)	31,000
6 (大会エントリー費の補助)	54,250
7 (大会エントリー費の補助)	42,000
8 (夏季合宿の保険料の補助)	6,750
9 (春季連盟個人保険料の補助)	6,250
10 ソフトテニス部 (秋季連盟個人保険料の補助)	6,750
11 (連盟年間個人及び団体費の補助)	82,610
12 (大会参加費の補助)	4,000
13 (大会参加費の補助)	4,000
14 将棋サークル一歩 (C1級からB2級に昇級)	100,000
15 (連盟加盟料の補助)	5,000
16 (大会の成績による顕彰に対する補助)	20,000
17 ゼファルス スキー同好会 (保険料の補助)	36,000
18 (団体の大会登録料の補助)	7,500
19 ワンデリング (スポーツ保険料の補助)	8,325
20 スキー同好会 (大会登録料の補助)	30,500
21 ラグビー部 (スポーツ保険料の補助)	26,825
22 アメリカンフットボール部 (選手・役員登録料の補助)	131,750
23 合気道部 (個人登録料の補助)	35,000
24 (全国大会参加費の補助)	17,500
25 アイスホッケー部 (大会参加費及び試合費の補助)	89,000
26 剣道部 (大会参加費の補助)	19,900
27 機親会学生會 (大会参加費の補助)	7,750
28 (大会参加費の補助)	10,300
29 (ゴルフ連盟への加盟登録料の補助)	63,000
30 ゴルフ部 (関東大学対抗チャレンジカップの大会費補助)	10,000
31 (川崎ゴルフ練習場での練習料の補助)	110,000
32 (競技役員講習会登録料・受講料の補助)	5,225
33 水泳部 (大会エントリー費の補助)	17,000
34 (練習場使用料の補助)	25,760
35 陸上競技部 (競技場使用料の補助)	14,800
36 バチエラーセブン (定期演奏会でのホールレンタル代の補助)	70,000
合計	1,372,495

TCUイベントプロジェクトサポート	金額 (円)
1 学科研究会連合(Proud of Our Flag)	285,120
合計	285,120

〈1-1-4〉 学生行事への援助

行事名	金額(円)
1 体育会主催のナイトラリー(7月5~6日)の運営費援助	304,000
2 文化団体連合会主催のハンドフェスティバル(10月11日)の運営費援助	200,000
合計	504,000

〈1-1-5〉 強化団体への援助

強化団体名	金額(円)
1 剣道部	300,000
2 空手道部	300,000
3 アメリカンフットボール部	300,000
合計	900,000

〈1-1-6〉 シャトルバス運行に対し援助

月	金額(円)	月	金額(円)	月	金額(円)
4月分	448,200	8月分	72,900	12月分	455,112
5月分	608,868	9月分	205,164	1月分	544,932
6月分	587,376	10月分	661,320	2月分	0
7月分	631,116	11月分	572,796	3月分	0
合計	4,787,784				

〈1-1-7〉 その他の援助

援助内容	金額(円)
1 学外指導者謝礼(36,000円×11団体14名)	504,000
合計	504,000

(1-2) 学生顕彰

課外・学術活動奨励賞(2月の学生表彰授賞式にて授与)

団体名・個人名	受賞理由	金額(円)	
課外活動奨励賞	団体 空手道部	第34回全国空手道選手権大会 会長杯 一般団体組手の部 優勝	30,000
	バドミントン部	関東学生秋季リーグ 女子5部1位	30,000
	吹奏楽団	大学主催イベントへの協力及び 第50回定期演奏会開催	30,000
	フンデリング スキー同好会	第33回長野県知事杯争奪木島平-石井スポーツ グループカップ 団体の部 優勝	30,000
	将棋サークル 一歩	関東大学将棋連盟主催秋季団体戦 C1級優勝	30,000
	TOY Theatre (児童演劇劇団)	ボランティアとして人形劇と朗読劇を実施	30,000
	フットサル部	第2回東京都大学フットサルリーグ 1部昇格	30,000
個人	三觜 京 (機械工学科 3年)	平成26年度東都大学野球春季リーグ戦 4部リーグ 首位打者	図書券 5,000
	柳川 爽達 (都市工学科 2年)	平成26年度東都大学野球秋季リーグ戦 4部リーグ 最優秀投手賞	図書券 5,000
	田中 勇氣 (情報工学専攻 修士課程 1年)	第33回長野県知事杯争奪木島平-石井スポーツ グループカップ 種目別競技 G5本戦 男子スパー大回転 優勝	図書券 5,000
	福井 隆太 (情報ネットワーク工学科 4年)	第42回全日本学生スカッシュ選手権大会 準優勝 第37回関東学生スカッシュ選手権大会 準優勝	図書券 5,000
	赤木 遥輝 (機械工学科 3年)	的確な救命措置を実施した結果 玉川消防署より感謝状を贈呈	図書券 5,000
学術活動奨励賞	堀越 要 (エネルギー化学専攻 修士課程 2年)	12th International Hydrocolloid Conference Poster Award 受賞	図書券 5,000
	吉野 広汰 (都市工学専攻 修士課程 2年)	第49回地盤工学会 地盤研究発表会優秀発表賞 受賞	図書券 5,000
	野口 直希 (情報工学専攻 修士課程 2年)	2014IEEE VTS Japan Chapter Student Paper Award 受賞	図書券 5,000
	今川 光 (環境情報学科 4年)	Windsor2014にて論文・口頭ポスター発表 国際ジャーナルArchitectural Science Review Volume58(1)に論文掲載 日本建築学会関東支部 論文・口頭発表 日本建築大会 論文・口頭発表	図書券 5,000
	賞状(個人ガラス盾) 及び 筆耕代		73,080
合計		328,080	

後援会長賞(3月の学位授与式にて会長より総代へ授与)

氏名	所属学科	所属団体	役職(年度)
1 楠井 晟矢	機械	学生団体連合会 文化団体連合会 サイクリング部	執行委員(24) 渉外(24) 部長(25)
2 高瀬 寛希	機械	世田谷祭運営委員会	会長(25)
3 土井 琢郎	機械	学生団体連合会	副執行委員長(24) 広報(25)
4 大井 亮昌	原子力安全	体育会	会長(25)
5 金城 一輝	生体医	新聞会	会長(25)
6 近藤 亮太	生体医	剣道部	主将(25)
7 岩崎 雅也	電気電子	同好会連合 学生団体連合会	会長(23) 会計(24)
8 松下 奨	電気電子	体育会 サッカー部	渉外(24) 主将(24)
9 佐藤 綾祐	電気電子	同好会連合 学生団体連合会	会長(25) 会計(25)
10 網田 有孝	建築	体育会	渉外(25)
11 松原 彩音	情報科学	文化団体連合会	副本部長(24) 本部長(25)
12 大矢 悠人	情報ネットワーク	放送会	会長(24)
13 高波 佳祐	経営システム	空手道部	主将(23) キャプテン(24)(25)
14 瀧本 将司	経営システム	ハンドボール部	主将(25)(26)
15 永井 竜	経営システム	学科研究会連合 学生団体連合会	本部長(25) 執行委員(25)
16 岩井 桃香	自然	自然科学科学生会 学科研究会連合	会長(25) 副本部長(25)
17 大野 真和	自然	放送会	会長(25)
18 青山 貴洋	環境情報	横浜祭運営委員会	会長(25)
19 安達 開人	環境情報	学生団体連合会横浜分室 フットサル部	渉外(24) 学祭会計(25) 部長(25)
20 倉本 龍司	環境情報	同好会連合	副会長(25)
21 松永 拓樹	環境情報	ISO学生委員会	代表(25)
22 江口 太章	都市生活	等々力祭運営委員会	会長(24)
23 高崎 匠	都市生活	吹奏楽団	団長(25)
24 黒田 真由	児童	Take Action(被災地ボランティア)	学生責任者(25)
25 鷲尾 寿幸	児童	学生団体連合会等々力分室	執行委員(24) 分室長(25)
26 與那覇 盛弘	児童	等々力祭運営委員会	会長(25)
商品券 20,000円×26名			520,000
賞状及び筆耕代			28,080
合計			548,080

(1-3) 学生生活指導への援助

援助内容	実施日	金額(円)
1 全学生団体(クラブ・同好会等)に対し、救命講習会の講習料の援助(東京@1,400 神奈川@1,000)	4月30日(1,000×71名)	71,000
	5月28日・6月4日 (1,400×93名)	130,200
	6月25日(1,400×20名)	28,000
	7月16日(1,400×40名) 9月21日(1,400×20名)	56,000 28,000
2 リーダース研修会でのテーピング講習会	リーダース研修会にて実施(12月3日)	91,620
3 アルコールパッチテストキット代	2,000人分	60,177
合計		464,997



(1-3) 学生生活指導への援助:リーダース研修会でのテーピング講習会

2. 「大学と保護者との連絡会」への援助

地区会場費へ援助

全体総括

- 開催期間 平成26年9月6日～10月4日
- 開催地 全国20会場
- 参加者

保護者合計 学部1,663世帯(2,247名) 大学院1世帯(1名)
 全国各地区会場 学部 344世帯(491名) 大学院1世帯(1名)
 (17会場)
 東京・横浜会場 学部1,319世帯(1,755名)
 (3会場)
 教職員 41名(全国各地区への派遣者数)

4. 今年度の結果と特徴

- ①学部全体の出席者(世帯)数は1,663世帯と前年比0.94%減だが、在籍者数に対する出席率は22.9%と昨年を0.4%上回った。学年別では、1年生の保護者の方が多いものの561世帯で前年比9.5%減、2年生が445世帯で4.5%増、3年生が457世帯で6.3%増、4年生が200世帯で1.5%増であった。
- ②大学会場は、各キャンパスとも大勢の保護者の方に出席していただき、世田谷キャンパスでは、前年比3.9%増の873世帯、横浜キャンパスでは、前年比8.2%減の292世帯、等々力キャンパスでは、前年比6.2%増の154世帯の出席者となった。
- ③地区会場については、昨年と同じ17会場を設定・実施した。首都圏以外の出身の在学生が年々減少しているため、今年の出席者(世帯)数は前年より0.9%減の344世帯となった。
- ④保護者との懇談では、就職活動の時期が変わるため、Uターンを含む就職関係の話題が一番関心を持たれたようであった。次に大学院進学、成績に関することが各会場での話題となり、個別相談も多数あった。
- ⑤地区会場では、地区担当の理事・評議員の方々に会の運営等に協力をしていただいた。また、今年度も本学同窓会である東京都市大学校友会の地方支部の役員に出席願ひ、各地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただいた。
- ⑥地区会場の声として、大学の現状や成績・学生生活・就職等の報告がなされたことについて好評であった。

詳細については、後援会誌TCU-COM51号(27年1月刊行)をご覧ください。



水戸会場

大学会場 学科別出席数(世帯数)

学科	平成26年度	平成25年度	学科	平成26年度	平成25年度
機械工学科	96	100	自然科学科	31	34
機械システム工学科	101	98	環境情報学科	57	98
原子力安全工学科	37	40	情報メディア学科	62	97
医用(生体医)工学科	55	54	環境創生学科	34	27
電気電子工学科	89	65	環境マネジメント学科	54	48
エネルギー化学科	62	60	社会メディア学科	41	23
建築学科	89	115	情報システム学科	44	25
都市工学科	86	80	都市生活学科	112	105
情報科学科	90	97	児童学科	42	40
情報通信(ネットワーク)工学科	61	35	大学院	—	1
経営システム工学科	76	61	合計	1,319	1,303

3. 大学行事への協力援助

大学行事名	援助対象	金額(円)
1 体育祭(5月14日～15日)	体育会	230,000
2 横浜祭(6月7日～8日)	横浜祭実行委員会	1,400,000
3 等々力祭(11月1日～2日)	等々力祭実行委員会	1,100,000
4 世田谷祭(11月1日～2日)	世田谷祭実行委員会	800,000
合計		3,530,000

4. 学生厚生援助

「朝活応援」企画(100円朝食)の実施

400円相当の朝食に対して、後援会、校友会、大学より100円ずつ補助(300円)を行った。

前期：7月14日(月)～8月6日(水)の平日(3キャンパス共通)

後期：10月1日(水)～1月30日(金)の平日(//)

結果：前期は2,878食、後期は12,640食、合計15,518食を提供

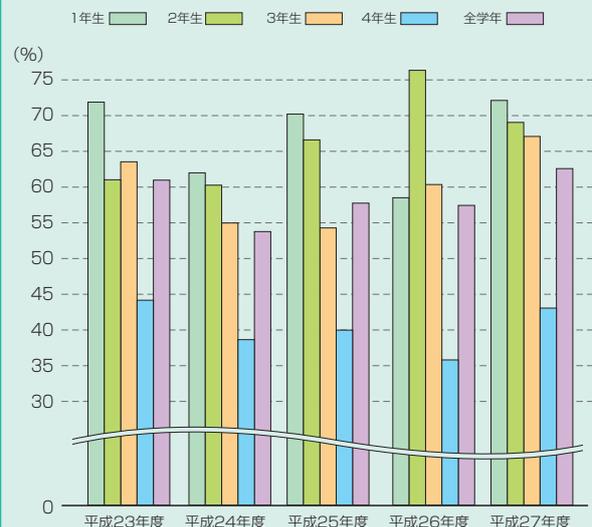


〈4〉学生厚生援助「朝活応援」企画100円朝食

5. 会誌の発行

会誌号	金額(円)
1 TCU-COM 50号を刊行(8月中旬全会員へ送付)	1,332,720
2 TCU-COM 51号を刊行(2月上旬全会員へ送付)	2,391,120
合計	3,723,840

過去5年間の在学生クラブ加入率



6.フレッシュャーズ・キャンパス(新入生研修行事)への補助

新入生1,681人×8,000円 = 13,448,000円 【実施:平成26年4月7日(月)~8日(火)】

学 科	実 施 場 所	参加者数(人)	研 修 内 容
機械工学科	長野県茅野市	136	茅野体育館にてバレーボール大会・夜間研修・クラスミーティング・山梨県立美術館見学・恵林寺見学
機械システム工学科	栃木県日光市	128	今市市運動公園体育センター(レクリエーション)・学科の集い・履修指導・ポスター作成・発表
原子力安全工学科	茨城県那珂郡東海村	46	日本原子力発電東海第二発電所・日本原子力開発機構見学・グループミーティング・スポーツ大会
医用工学科	群馬県富岡市	80	日本光電富岡見学・研修会・伊香保グリーン牧場にて飯盒炊爨
電気電子工学科	千葉県鴨川市	145	鴨川市総合運動施設にてスポーツ大会・グループミーティング・マザー牧場(カレー作り)
エネルギー化学科	千葉県勝浦市	111	オリエンテーション・バレーボール大会・発表・懇親会・東京都産業技術センター・前田道路東京合材工場
建築学科	山梨県笛吹市	122	研修・昇仙峡・ほうとう会館・影絵の森美術館見学
都市工学科	千葉県市川市・東京都江東区	118	履修相談・東京外環自動車道大和田工事現場見学・清水建設技術研究所見学・海ほたる
情報科学科	千葉県木更津市	131	ポスター製作・履修相談・ポスター発表会・マザー牧場(飯盒炊爨およびカレー作り)
情報通信工学科・自然科学科	千葉県木更津市	132	ポスター製作・発表会・表彰式・履修相談・マザー牧場(学科レクリエーション)
経営システム工学科	兵庫県神戸市	100	履修相談会・グループミーティング・パナソニック(株)神戸工場・工場見学・講義・実習
環境創生学科・環境マネジメント学科	山梨県南都留郡鳴沢村	499	スポーツ大会・フィールドワーク体験学習・情報リテラシーガイダンス
社会メディア学科・情報システム学科	山梨県南都留郡鳴沢村	499	フレンドシップアワー・クラス担任ガイダンス・飯盒炊爨 他
都市生活学科	静岡県下田市白浜	200	下田歴史散策・スポーツ大会・フレンドシップアワー・クラス担任ガイダンス
児童学科	山梨県南都留郡富士河口湖町	116	スポーツ大会・クラスアワー・富士山エコツアーガイドによる講話・エコツアー
合 計		2,064	

※参加者数は新入生・上級生・教員の合計数、大学からも新入生1人8,000円支出。

7.就職活動への援助(進路適性検査の実施費用)

検 査 内 容	対 象	25年度 受験者数	26年度 受験者数	単 価 (円)	金 額 (円)
基礎力調査Ⅰ	世田谷キャンパス 1年	1,121人	1,030人	2,726	2,807,780
	横 浜キャンパス 1年	502人	371人		
	等々力キャンパス 1年	302人	271人		
基礎力調査Ⅱ	世田谷キャンパス 2年	906人	897人	2,726	2,445,222
	横 浜キャンパス 2年	346人	400人		
	等々力キャンパス 2年	265人	288人		
キャリアアプローチ	世田谷キャンパス 3年	715人	693人	1,030	713,790
	横 浜キャンパス 3年	324人	316人		
	等々力キャンパス 3年	218人	228人		
SPI 模擬試験	世田谷キャンパス 3年	826人	696人	1,000	696,000
	横 浜キャンパス 3年	381人	377人		
	等々力キャンパス 3年	41人	253人		
合 計					11,427,589

8.緊急奨学金制度

前期、後期2回の募集説明会を実施したが、応募者なし。

9.その他

- (1)平成26年度入学式において西垣前会長が来賓として祝辞を述べた。
- (2)平成26年度横浜祭において伊藤会長が出席し、挨拶をした。
- (3)平成26年度世田谷祭において伊藤会長が出席し、挨拶をした。
- (4)平成26年度学位授与式において伊藤会長が後援会長賞を授与した。
- (5)平成27年度入学式において伊藤会長が来賓として祝辞を述べた。



(9)伊藤会長より後援会長賞授与

運 営

1.第1回理事会 平成26年5月17日(土)開催

- 第1号議案 平成25年度 事業報告について
- 第2号議案 平成25年度 決算報告について(緊急奨学金含む)
- 第3号議案 平成26年度 役員・評議員(案)について
- 第4号議案 平成26年度 事業計画(案)について
- 第5号議案 平成26年度 予算(案)について(緊急奨学金含む)
- その他

2.第2回理事会 平成26年11月1日(土)開催

- 第1号議案 平成26年度 後援会事業経過について
- 第2号議案 後援会の次年度に向けての運営について
 - 2-1 平成27年度後援会主要会議日程(案)
 - 2-2 平成27年度後援会役員・理事・評議員構成(案)
- その他
- 報告事項1 平成26年度「大学と保護者との連絡会」の結果について
- 2 緊急奨学金の現状について

3.評議員会 平成26年5月31日(土)開催

- 第1号議案 平成25年度 事業報告について
- 第2号議案 平成25年度 決算報告について(緊急奨学金含む)
- 第3号議案 平成26年度 役員・評議員(案)について
- 第4号議案 平成26年度 事業計画(案)について
- 第5号議案 平成26年度 予算(案)について(緊急奨学金含む)
- その他

4.会計監査

平成27年4月18日(土) 牛窪、薦木両会計監査により、平成26年度の監査を実施。

5.その他

なし

平成26年度 決算

平成26年4月1日～平成27年3月31日

科目	平成26年度予算	平成26年度決算	執行率	備考
(収入の部)	(円)	(円)	(%)	
1. 会費	83,850,000	83,850,000	100	
2. 雑収入	26,366	26,246	99	
3. 前年度繰越金	21,769,626	21,769,626	100	
収入の合計	105,645,992	105,645,872	99	
(支出の部)	(円)	(円)	(%)	
事業費	83,820,630	74,508,849	89	
1. 正課外教育援助費	42,180,000	36,089,990	86	詳細は事業報告をご覧ください
1-1 課外活動援助費	40,680,000	34,748,833	85	
1-1-1 学生団体連合会援助	23,380,000	21,750,000	93	
1-1-2 新規学科研究会等援助	1,200,000	1,200,000	100	
1-1-3 一般援助	8,000,000	5,103,049	64	
1-1-4 学生行事援助	900,000	504,000	56	
1-1-5 団体強化援助	900,000	900,000	100	
1-1-6 シャトルバス援助	4,800,000	4,787,784	99	
1-1-7 その他の援助	1,500,000	504,000	34	
1-2 学生顕彰費	1,000,000	876,160	88	
1-3 学生生活指導費	500,000	464,997	93	
2. 保護者連絡会費	4,500,000	4,737,630	105	
3. 大学行事協力費	4,200,000	3,530,000	84	
4. 学生厚生援助費	3,000,000	1,551,800	52	
5. 会報発行費	4,200,000	3,723,840	89	
6. 新入生研修行事費	13,448,000	13,448,000	100	
7. 就職活動援助費	12,292,630	11,427,589	93	
運営費	6,080,000	4,306,358	71	
8. 事務費	1,700,000	1,249,433	73	委託費、事務用品費
9. 会議費	800,000	666,479	83	理事会・評議員会等
10. 印刷・通信費	900,000	738,018	82	通知・案内の郵送、印刷費
11. 旅費・交通費	2,000,000	1,344,890	67	役員・評議員の交通費
12. 備品費	300,000	70,794	24	コピー機再リース料他
13. 慶弔費	300,000	174,600	58	慶弔費
14. 雑費	800,000	62,144	78	振込み手数料等
予備費	11,745,362	2,362,269	20	海外研修支援会(150万円 平成27年度まで)、新規検討事業等
特別会計	4,000,000	4,000,000	100	
15. 後援会基本運営基金	0	0		25年度までの基金総額 29,100,000円
16. 記念事業費積立	4,000,000	4,000,000	100	25年度までの積立総額 44,000,000円 (29年度まで積立継続)
17. 学生事故対策援助費積立	0	0		// 20,000,000円
18. 特別課外活動援助費積立	0	0		// 5,000,000円
小計	105,645,992	85,177,476	81	
次年度繰越金	0	20,468,396		
支出の合計	105,645,992	105,645,872	99	

平成26年度 緊急奨学金決算

平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位:円)

経常収入の部	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算
前年度繰越金	13,907,293	15,390,996	15,390,996
緊急奨学金返済収入	2,086,677	4,776,500	2,552,930
後援会基本積立組入れ	—	—	—
利息収入	2,341	2,341	2,752
経常収入計	15,996,311	20,169,837	17,946,678
経常支出の部			
緊急奨学金貸付支出	0	8,040,000	0
貸倒損失	605,000	0	0
弁護士費用	0	0	0
雑費	315	3,000	324
経常支出計	605,315	8,043,000	324
経常収支	15,390,996	12,126,837	17,946,354

平成27年度 役員・評議員

役員（敬称略）

会長	伊藤 秀樹	神奈川県	機械システム工学専攻M1	(再)	理事	菊池 勝則	東京都	環境マネジメント3年	(再)
副会長	水谷 悟	神奈川県	機械4年	(新)	理事	中西 道夫	東京都	都市生活3年	(再)
副会長	北澤 正雄	神奈川県	自然科学3年	(新)	理事	上田 毅	東京都	児童3年	(再)
会計監査	牛窪 寿夫	東京都	機械工学専攻M2	(再)	理事	石垣 潤	神奈川県	機械システム2年	(新)
会計監査	薦木 昭治	神奈川県	建築4年	(再)	理事	大石 晃嗣	東京都	原子力安全2年	(新)
理事	大箸 安彦	神奈川県	情報メディア4年	(再)	理事	奈良坂 尚	宮城県	電気電子2年	(新)
理事	木原 恒雄	神奈川県	情報メディア4年	(再)	理事	柳沼 謙一	東京都	都市2年	(新)
理事	鈴木 貴史	福島県	情報メディア4年	(再)	理事	松本 直也	神奈川県	情報通信2年	(新)
理事	井上 高光	神奈川県	機械システム3年	(再)	理事	酒井 雅史	東京都	環境創生2年	(新)
理事	狩野 尚徳	神奈川県	電気電子3年	(再)	理事	山田 幸雄	神奈川県	環境創生2年	(新)
理事	山下 伸一郎	神奈川県	建築3年	(再)	理事	進藤 眞理	東京都	社会メディア2年	(新)
理事	太田 一三	神奈川県	情報科学3年	(再)	理事	仲川 桂二	神奈川県	情報システム2年	(新)
理事	正田 憲昭	神奈川県	情報科学3年	(再)	理事	竹内 正光	東京都	都市生活2年	(新)
理事	阿部 芳己	神奈川県	経営システム3年	(再)					

顧問 学長 三木 千壽

顧問 副学長 丸泉 琢也

評議員（敬称略）

河野 好彦	千葉県	生体医工学専攻M2	(再)	小林 賢司	山梨県	情報通信3年	(再)	後藤 宏明	神奈川県	原子力安全1年	(新)
上田 涉	神奈川県	建築学専攻M2	(再)	勝俣 英雄	静岡県	環境創生3年	(再)	山田 辰男	東京都	医用1年	(新)
鈴木 啓悦	静岡県	建築学専攻M2	(再)	龜山 俊之	神奈川県	環境創生3年	(再)	栗木 茂行	長野県	電気電子1年	(新)
小沢 靖	神奈川県	エネルギー化学専攻M2	(再)	行友 弥	神奈川県	環境マネジメント3年	(再)	針ヶ谷 誠	東京都	電気電子1年	(新)
茨木 淳己	群馬県	電気電子工学専攻M1	(再)	岡本 学	神奈川県	社会メディア3年	(再)	浅井 透	東京都	エネルギー化学1年	(新)
渡邊 史弘	東京都	都市工学専攻M1	(再)	武田 優子	東京都	社会メディア3年	(再)	奈木 訓宏	静岡県	エネルギー化学1年	(新)
長澤 正樹	埼玉県	システム情報工学専攻M1	(再)	高木 純	神奈川県	情報システム3年	(再)	北村 嘉久	神奈川県	建築1年	(新)
船渡川秀明	栃木県	機械4年	(再)	石栗 秀明	群馬県	都市生活3年	(再)	田中 猛	山梨県	建築1年	(新)
杉森 康雄	静岡県	機械システム4年	(再)	櫛木 和行	東京都	児童3年	(再)	名内 文資	愛知県	都市1年	(新)
池田 幸治	茨城県	原子力安全4年	(再)	鬼本 秀樹	石川県	機械2年	(再)	南 浩一	神奈川県	都市1年	(新)
服部 博行	愛知県	生体医4年	(再)	菅原 健	神奈川県	機械2年	(再)	竹中 卓	神奈川県	情報科学1年	(新)
大久保成視	東京都	電気電子4年	(再)	木村 弘	北海道	機械システム2年	(再)	武 啓二郎	神奈川県	情報通信1年	(新)
安藤 哲也	茨城県	エネルギー化学4年	(再)	井田 清裕	神奈川県	医用2年	(再)	安藤健一郎	福島県	経営システム1年	(新)
中村 直	新潟県	都市4年	(再)	白瀬 公男	東京都	電気電子2年	(再)	養田 清猛	千葉県	経営システム1年	(新)
松並 清隆	千葉県	都市4年	(再)	滝本 直樹	広島県	建築2年	(再)	堀 真人	神奈川県	自然科学1年	(新)
冲村 充宣	広島県	情報ネットワーク4年	(再)	廣瀬 彰彦	静岡県	建築2年	(再)	北野 弘和	神奈川県	環境創生1年	(新)
奥澤 誠	静岡県	経営システム4年	(再)	中村 智哉	栃木県	都市2年	(再)	新開 智	東京都	環境創生1年	(新)
袴田世津夫	静岡県	経営システム4年	(再)	大羽 博昭	福岡県	情報科学2年	(再)	木下 尚	千葉県	環境マネジメント1年	(新)
木下 信之	東京都	自然科学4年	(再)	春田 隆三	東京都	情報科学2年	(再)	福田 利信	栃木県	環境マネジメント1年	(新)
梅田 仁	東京都	都市生活4年	(再)	五十嵐博紀	埼玉県	自然科学2年	(再)	田中 喜彦	東京都	社会メディア1年	(新)
中村 和弘	千葉県	都市生活4年	(再)	堀越 敦	神奈川県	環境マネジメント2年	(再)	大藤 修治	群馬県	情報システム1年	(新)
横尾 昭男	神奈川県	機械3年	(再)	川戸 良幸	神奈川県	情報システム2年	(再)	佐々木勝久	埼玉県	情報システム1年	(新)
小田島義博	宮城県	機械システム3年	(再)	畑田 和則	長野県	都市生活2年	(再)	大野 圭一	神奈川県	都市生活1年	(新)
和田 茂	茨城県	原子力安全3年	(再)	石川 俊之	東京都	児童2年	(再)	近藤 三洋	東京都	都市生活1年	(新)
向笠 修司	静岡県	エネルギー化学3年	(再)	土屋 良直	神奈川県	機械1年	(新)	若林 宇興	宮城県	都市生活1年	(新)
長谷川通久	愛知県	建築3年	(再)	樋口 雅之	茨城県	機械1年	(新)	奥村 泰宏	静岡県	児童1年	(新)
花上 克宏	千葉県	都市3年	(再)	相浦 高寛	福岡県	機械システム1年	(新)				
和田 祐二	埼玉県	都市3年	(再)	稲見 雅彦	神奈川県	機械システム1年	(新)				

※（新）は新任、（再）は再任

事業

1. 正課外教育援助

(1-1) 課外活動援助

<1-1-1> 学生団体連合会への援助(一括渡し)

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	23,380,000	21,750,000	学生団体連合会の所属団体に配分
平成27年度	23,380,000		前年度予算と同額を計上

<1-1-2> 新規学科研究会等への援助

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	1,200,000	1,200,000	新規設立団体(4団体)
平成27年度	0		新規学科研究会設立なし

<1-1-3> 一般援助

課外研究、対外活動、環境向上活動、情報収集活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等、及びTCUIイベントプロジェクトサポート等へ(援助希望団体・個人の申請に基づき、大学学生部の意見を受けて決定)

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	8,000,000	5,103,049	
平成27年度	8,000,000		前年度予算と同額を計上

<1-1-4> 学生行事援助

ナイトラリー、ハンドフェスティバル、公開企画、特別行事等に対する補助(援助希望団体・個人の申請に基づき、大学学生部の意見を受けて決定)

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	900,000	504,000	ナイトラリー、ハンドフェスティバル援助
平成27年度	900,000		前年度予算と同額を計上

<1-1-5> 団体強化援助

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対してチーム強化のための補助(関東リーグ3部以上相当、関東ランキング24位前後以上を目安)

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	900,000	900,000	アメリカンフットボール部 剣道部 空手道部に各30万円
平成27年度	900,000		前年度予算と同額を計上

<1-1-6> シャトルバス援助

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	4,800,000	4,787,784	水曜日を1便増便
平成27年度	5,300,000		道路運送法改定により約10%増

<1-1-7> その他の援助

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	1,500,000	504,000	学外指導者への謝礼等
平成27年度	1,500,000		前年度予算と同額を計上

(1-2) 学生顕彰

- 課外活動奨励賞の授与: 学生表彰授賞式において、賞状と副賞を授与
- 後援会長賞の授与: 学位授与式(卒業式)において賞状と副賞を授与

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	1,000,000	876,160	
平成27年度	1,000,000		前年度予算と同額を計上



(5) 会誌TCU-COMの発行

(1-3) 学生生活指導への援助

- 学生団体の責任者を対象としたリーダーズ研修会の費用の補助
- 安全教育として学生団体を中心に救命講習会の受講を義務付け、その費用の援助
- 学生(留学生を含む)の国際交流活動に対し補助
- その他学生生活指導上必要と認められる事柄

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	500,000	464,997	救命講習会・テーピング講習会等
平成27年度	500,000		前年度予算と同額を計上

2. 「大学と保護者との連絡会」の共催

全国主要都市(17都市)と大会会場(世田谷・横浜等々力)で開催予定

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	4,500,000	4,737,630	大会会場含む全国20会場
平成27年度	5,000,000		

3. 大学行事への協力

体育祭・東京都市大学世田谷祭・横浜祭等々力祭等の大学行事に援助

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	4,200,000	3,530,000	各キャンパス学園祭、体育祭援助
平成27年度	4,200,000		前年度予算と同額を計上

4. 学生厚生援助

学生の福利厚生・厚生施設・設備の充実のための補助等

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	3,000,000	1,551,800	「朝活応援」(100円朝食)
平成27年度	3,400,000		「朝活応援」(100円朝食)等

5. 会誌TCU-COMの発行

TCU-COMを年2回発行し、学内の動きを保護者の皆様に紹介するとともに、「大学と保護者との連絡会」等のご案内をしています

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	4,200,000	3,723,840	50号・51号を刊行
平成27年度	4,200,000		52号・53号を刊行予定

6. 新入生研修行事(フレッシュャーズ・キャンプ)への援助

毎年4月オリエンテーション後に実施する新入生対象のフレッシュャーズ・キャンプへの補助

年度	予算(円)	決算(円)	内容
平成26年度	13,448,000	13,448,000	8,000円×1,681名分
平成27年度	13,384,000		8,000円×1,673名分

7. 就職活動への援助(進路適性検査の実施費用)

検査内容	対象学年	平成26年度		検査内容	平成27年度		
		受験者数	金額(円)		受験者数	金額(円)	
基礎力調査Ⅰ	世1	1,030人	2,726	*プログラムⅠ	1,020人	2,280,720	
	横1	371人			368人	2,236	822,848
	等1	271人	2,659		277人		619,372
基礎力調査Ⅱ	世2	897人	2,726	*プログラムⅡ	884人	1,976,624	
	横2	400人			330人	2,236	737,880
	等2	288人	2,659		265人		592,540
キャリアアプローチ	世3	693人	1,030	*プログラムⅢ	774人	1,730,664	
	横3	316人	962		379人	2,236	847,444
	等3	228人	926		267人		597,012
SPI模擬試験	世3	696人	1,000	SPI模擬試験	774人	1,000	774,000
	横3	377人	1,030		428人	1,030	440,840
	等3	253人	1,080		279人	1,080	301,320
合計			11,427,589	合計		11,721,264	

*平成27年度より、基礎力調査Ⅰ・Ⅱ、キャリアアプローチがプログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲに変更。

運営

- 理事会(年2回)
 - ① 平成27年 5月16日(土)
 - ② 平成27年10月31日(土)
- 評議員会(年1回)
 - 平成27年 5月30日(土)
- その他

平成27年度 予算

平成27年4月1日～平成28年3月31日

科目	平成26年度予算	平成26年度決算	執行率	平成27年度予算	平成26年度予算との比較
(収入の部)	(円)	(円)	(%)	(円)	(円)
1. 会費	83,850,000	83,850,000	100	82,960,000	▲ 890,000
2. 雑収入	26,366	26,246	99	27,036	670
3. 前年度繰越金	21,769,626	21,769,626	100	20,468,396	▲ 1,301,230
収入の合計	105,645,992	105,645,872	99	103,455,432	▲ 2,190,560
(支出の部)					
事業費	83,820,630	74,508,849	89	83,385,264	▲ 435,366
1. 正課外教育援助費	42,180,000	36,089,990	86	41,480,000	▲ 700,000
1-1 課外活動援助費	40,680,000	34,748,833	85	39,980,000	▲ 700,000
1-1-1 学生団体連合会援助	23,380,000	21,750,000	93	23,380,000	0
1-1-2 新規学科研究会等援助	1,200,000	1,200,000	100	0	▲ 1,200,000
1-1-3 一般援助	8,000,000	5,103,049	64	8,000,000	0
1-1-4 学生行事援助	900,000	504,000	56	900,000	0
1-1-5 団体強化援助	900,000	900,000	100	900,000	0
1-1-6 シャトルバス援助	4,800,000	4,787,784	99	5,300,000	500,000
1-1-7 その他の援助	1,500,000	504,000	34	1,500,000	0
1-2 学生顕彰費	1,000,000	876,160	88	1,000,000	0
1-3 学生生活指導費	500,000	464,997	93	500,000	0
2. 保護者連絡会費	4,500,000	4,737,630	105	5,000,000	500,000
3. 大学行事協力費	4,200,000	3,530,000	84	4,200,000	0
4. 学生厚生援助費	3,000,000	1,551,800	52	3,400,000	400,000
5. 会報発行費	4,200,000	3,723,840	89	4,200,000	0
6. 新入生研修行事費	13,448,000	13,448,000	100	13,384,000	▲ 64,000
7. 就職活動援助費	12,292,630	11,427,589	93	11,721,264	▲ 571,366
運営費	6,080,000	4,306,358	71	5,880,000	▲ 200,000
8. 事務費	1,700,000	1,249,433	73	1,700,000	0
9. 会議費	800,000	666,479	83	800,000	0
10. 印刷・通信費	900,000	738,018	82	900,000	0
11. 旅費・交通費	2,000,000	1,344,890	67	1,800,000	▲ 200,000
12. 備品費	300,000	70,794	24	300,000	0
13. 慶弔費	300,000	174,600	58	300,000	0
14. 雑費	80,000	62,144	78	80,000	0
予備費	11,745,362	2,362,269	20	10,190,168	▲ 1,555,194
特別会計	4,000,000	4,000,000	100	4,000,000	0
15. 後援会基本運営基金	0	0		0	0
16. 記念事業費積立	4,000,000	4,000,000	100	4,000,000	0
17. 学生事故対策援助費積立	0	0		0	0
18. 特別課外活動援助費積立	0	0		0	0
小計	105,645,992	85,177,476	81	103,455,432	▲ 2,190,560
次年度繰越金	0	20,468,396		0	0
支出の合計	105,645,992	105,645,872	99	103,455,432	▲ 2,190,560

※前年度予算との比較(増減額)の▲印は、前年度予算額に対する今年度予算額の減額を示す。

平成27年度 緊急奨学金予算

平成27年4月1日～平成28年3月31日 (単位:円)

	平成26年度予算	平成26年度決算	平成27年度予算
経常収入の部			
前年度繰越金	15,390,996	15,390,996	17,946,354
緊急奨学金返済収入	4,776,500	2,552,930	4,448,504
利息収入	2,341	2,752	2,752
経常収入計	20,169,837	17,946,678	22,397,610
経常支出の部			
緊急奨学金貸付支出	8,040,000	0	8,040,000
貸倒損失	0	0	0
弁護士費用	0	0	0
雑費	3,000	324	3,000
経常支出計	8,043,000	324	8,043,000
経常収支	12,126,837	17,946,354	14,354,610

クローズアップ・スチューデント⑤

2年次に団体戦でインカレ(第61回全日本学生剣道優勝大会)に出場したときの記念写真。(後列右から2番目が本人)

集中して濃密な稽古をすれば強豪とも互角に渡り合えます

工学部 原子力安全工学科4年 池田 光聖さん



創設は昭和34年という長い歴史を誇る都市大剣道部ですが、つい先頃まで全国大会(インカレ)への出場経験はありませんでした。それが平成24年と25年、団体戦でインカレに連続出場する快挙を達成! その躍進の原動力となったのが、池田光聖君です。剣士としては小柄ですが、スピードと瞬発力を武器に試合では獅子奮迅の活躍。25年と26年にはなんと個人戦でもインカレに出場しています。そんな池田君は仲間からの信頼も厚く、3年次では主将として部を牽引。剣道に対する熱き思い、さらに将来の夢などについて語っていただきました。

剣道を始めたのは小学校1年生。子供の頃に剣道をやっていた父が、実家近くの道場への入門をすすめてくれたんです。地元では強いと評判のところでも、師範の皆さんの指導も上手だったせいか、たちまち剣道の虜に。小学校6年生のときにはこの道場から全国大会へ出場し、団体戦で全国2位になりました。

中学校でも道場と部活の両方で剣道を続けましたが、戦線的に伸び悩み、辞めようと思った時期も。小柄なほうですから、体格の大きい選手に勝てなくなってしまったんですね。でも、高校に入って持ち前のスピードを生かした戦術に切り替えたあたりから、だんだん勝てるように。2年生のときに団体戦で県大会2位に、3年生では個人・団体戦ともベスト8入りを果たしました。残念ながらインターハイには出られませんでした。自分としてはまずまずの成績を残せたかなと満足しています。

都市大の原子力安全工学科を志望したのは、父が原子力関係の仕事をしていること、さらに震災による福島原発の事故で、原子力についてさまざまな角度から深く学びたいと思ったのが大きいですね。勉強も忙しくなるし、剣道ではなく何か他のスポーツ系サークルにでも入ろうかとも考えましたが、自分が一番輝ける場所は子供の頃からやっていた剣道以外にないと考えて当部に入部。とはいえ、最初は2年ぐらいで辞めるつもりだったんです。でも楽しみながら腕を高め合おうとする部の雰

囲気、何より顧問を務める久保哲也先生(共通教育部准教授)の厳しくも優しいお人柄に惹かれ、気がついたら僕のキャンパスライフにとって、剣道部はすっかりなくてはならないものとなっていました。

稽古は基本的に週4日で、1時間半から2時間ほど。強豪校に比べたらかなり少ない稽古時間です。それでも個人・団体戦とも2年連続でインカレ出場を果たせたのは、自分たちの頭で稽古内容を考える当部の伝統のおかげ。短いなかでいかに効果的な稽古ができるかを、常に部員一同が意識しています。みんな学業が忙しいなかであえて剣道部に入ったわけですから、稽古に対するモチベーションがそもそも高いのです。また自分の場合、そうして濃密な稽古をすることでストレスが上手く発散され、逆に勉強に集中できたという部分もありますね。

就職しても実業団で剣道は続けていくつもりです。この道を極めていけば必ず仕事にもいい効果をもたらすと信じていますから。剣道と出会えて本当に良かったと感じています。



「最近さぼりがちですが、小さい頃から素振り1000本が毎日のノルマ。無心に竹刀を振るといい気分転換になります」



スピードを武器に大きな体型の選手を翻弄。もっとも得意な技は、飛び込み面です。



個人戦でインカレ出場時に、ご両親とともに。伸び悩んだ時期も、陰で支えてくれました。

■プロフィール

1994年2月14日茨城県ひたちなか市生まれ。小学1年生から地元の剣道場に通い、めきめき頭角を現す。高校は、剣道が強い茨城県立土浦湖北高校へスポーツ推薦で進学。個人戦で県大会2位などの好成績を残したことから体育会系の大学へ進むこともできたが、原子力の安全運用について学びたいと考え、都市大工学部原子力安全工学科へ入学。剣道部に所属し、団体戦と個人戦、それぞれでインカレ出場を果たした功績などが評価され、平成25年度と26年度、学生表彰(学生部長賞)を受けた。現在の段位は4段。

平成27年度 体育祭

例年以上の盛り上がりを見せた体育祭

平成27年度 体育祭実行委員長

工学部 建築学科 3年 鶴田 尚希

今年度の体育祭は前日が大雨であり開催が心配されましたが、当日は天気に恵まれ予定されていた全ての競技を開催することが出来ました。

昨年に引き続き総合グラウンド、世田谷キャンパス、横浜キャンパスの3箇所で開催が実施されました。今年度の体育祭1日目は午前授業後の開催であったため授業出席者が気軽に参加できるよう各キャンパスでの開催種目を増やし、種目日程を調整するなど工夫を凝らし多くの方々に参加していただきました。今年は昨年度より体育祭参加勧誘に力を入れ、勧誘期間を長く設定したことや参加用紙を多くの箇所配布したことにより昨年度より大幅に参加者を募ることができ、本番は各競技非常に盛り上がりました。特に昨年度まで横浜キャンパスで実施していたドッジボールを今年度から世田谷キャンパスで行ったところ、昨年に比べ2倍の参加者が集まり、観客・選手が一体となるような盛り上がりを見ることが出来ました。

体育祭は部活動やサークル、研究室、教職員の方など学生だけでなく大変多くの方が参加しており、そういった人達の協力もあり体育祭が成り立っています。性別、生徒と教師、キャンパス、学年、学科などの違いも関係なく交流ができる貴重な機会であり、勝利という共通の目標に向かって様々な人と切磋琢磨し交流を深めていくことを体育会本部一同願っております。また、体育祭を通じて挑戦し続け諦めない気持ち、悔しい気持ち、仲間と協力しあい何かを達成することの大切さ、純粋にスポーツを楽しむことなどが共有できたらと考えております。

最後になりましたがこの場を借りて、ご協力していただきました多くの皆様に厚く御礼申し上げます。今年度参加していただいた方は、来年度の参加もお待ちしております。

開催種目

- 世田谷キャンパス 卓球(ダブルス・団体戦)/バレーボール/相撲腕相撲/リレー/ドッジボール/バスケットボール/ソフトボール/耐久腕立て伏せ
- 横浜キャンパス 3on3/バドミントン/フットサル
- 総合グラウンド テニス/サッカー



第19回 東京都市大学横浜祭

地域との一体感を感じた 横浜祭

平成27年度 横浜祭運営委員会 会長

メディア情報学部 社会メディア学科 3年 渕上 健太

6/6(土)、6/7(日)に第19回東京都市大学横浜祭が横浜キャンパスにて開催されました。2日間天候にも恵まれ、多くのお客様に来場していただき、無事成功を収めることができました。

私たちは今回の横浜祭のテーマを「笑顔満祭」と掲げ、学園祭を通して得られる笑顔に加え、横浜キャンパスの特色である「環境・情報・地域」を横浜祭ならではの企画、雰囲気を通じてさらに笑顔になっていただきたいという想いを込めて、運営委員会一同共通の意識を持ち、約1年間全力で活動して参りました。

今年度は横浜キャンパスの特色のなかでも特に「地域」に力を入れました。テーマ企画である「SMILE QUEST」では紋章のカードを必死で集めている地域の子供達の姿や、地域の野菜を使ってミネストローネを販売した地産地消の「COS(カーボンオフセット)」は楽しみながら環境問題について一緒に考えているお客様の姿が見られました。昨年度雨の影響で行えなかった「フリーマーケット」では青空の下、たくさんの方々の皆さまににぎわっていました。また、クロマキー合成技術*を利用した情報系企画である「Under the Sea!」は大変盛況で、地域の子供たちだけでなく親である大人の方々にも興味関心を持っていただき、その他の企画を含め、私たちが掲げたテーマの下、横浜祭を楽しんでいただけたと実感しております。

最後になりますが、横浜祭が無事に成功を収めることができましたのも、常日頃からご支援、ご協力賜りました皆様のお心遣いがあるからこそだと思っております。厚く御礼申し上げます。

*複数の画像を合成する手法の一つで、特定の色情報を持つ領域を他の画像と置き換える手法です。



フレッシューズ・キャンプ

グループワークや都市大QUIZ、履修相談で入学後の不安解消!

知識工学部 情報通信工学科

講師 佐藤 正知

知識工学部情報通信工学科では、4月7日、8日の2日間にわたって世田谷キャンパスおよび南房総の鴨川館、お台場の日本科学未来館にてフレッシューズキャンプを開催しました。新入生に加えて、2、3年生の上級生および教職員の総勢86名が参加しました。

7日の午前は、2号館21A教室にて10名程度の班に分かれて「あなたが欲しい未来のデバイス」というテーマでグループワークを行いました。開始直後は入学当初ということもあり自己紹介からのスタートでしたが、時間が経つにつれて椅子から立って机を取り囲むほど熱の入った話し合いになりました。昼食をはさんでからの発表会では、各班の代表者が自分たちの考えた未来のデバイスについて熱心に発表を行いました。

その後、バスで宿泊地の南房総のホテルに移動しました。移動中の車内でも賑やかで、新入生達は互いに十分打ち解けている雰囲気でした。夕食後は、前期の講義の履修相談を担当の教員と行い、履修する科目についての理解を深めました。その後、上級生主催の都市大QUIZ大会が行われました。都市大で過ごすにあたって知っておくと良い事柄について出題されるQUIZで教員から見ても役立つと感じました。

2日目は季節外れの雪が降るとも寒い日でした。ホテルで朝食をとった後、バスでお台場にある日本科学未来館へ移動し、2時間ほど自由見学した後、本学に戻って解散しました。日本科学未来館からの帰路のバス内では1日目と違って、ほとんどの学生が熟睡のお疲れモードでした。明け方近くまで夜更かしして親交を深めていたようです。今年も非常に有意義なフレッシューズキャンプが開催できたと思います。



事務局便り

今年4月より2期目最終年の学生部長を拝命し、合わせて後援会事務局長を務めさせていただいております。この1年間の後援会活動につきまして、簡単にご報告させていただきます。

昨年度、後援会では例年のように学生の課外活動支援、課外活動における顕著な活躍を示した個人、団体および優れた学術活動を表彰する学生表彰、「大学と保護者との連絡会」の共催、学園祭、体育祭の大学

行事への援助など、従来より後援会で進めてまいりました事業に加え、学生に対する「朝活応援」企画(100円朝食)を大学と校友会(同窓会)と協力してスタートさせました。3キャンパスとも学生には非常に好評で、実施日の殆どが完売で終了しております。また学習に困難を感じている学生を支援するプロジェクトやハラスメント対策等、様々な取り組みで会費を有効活用しております。これらの取り組みをさらに発展させ、学生生活の更なる充実に貢献できればと思います。

今年度も引き続き、会員各位のご指導、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



学生部長(後援会事務局長)
渡辺 一郎

共通教育部 人文・社会科学系 教授

✧平成27年度✧「大学と保護者との連絡会」のお知らせ

全国20ヶ所
で開催

後援会と大学との共催により、平成27年度「大学と保護者との連絡会」を以下の全国20会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学生の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

*「大学と保護者との連絡会」開催のご案内は学部生を対象として通知しております。
大学院生で参加希望の方は、後援会までご連絡ください。

✧平成27年度「大学と保護者との連絡会」日程および会場

開催地	開催日	時間	会場
札幌	9月12日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	札幌全日空ホテル 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-2-9(TEL 011-221-4411)
仙台	9月13日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	仙台国際ホテル 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-6-1(TEL 022-268-1111)
郡山	9月12日(土)	受付開始 13:15 開催 13:30~15:30	チサンホテル郡山 〒963-8002 郡山市駅前1-8-18(TEL 024-923-6711)
宇都宮	9月12日(土)	受付開始 13:15 開催 13:30~15:30	チサンホテル宇都宮 〒321-0964 宇都宮市駅前通り3-2-3(TEL 028-634-4311)
水戸	9月 5日(土)	受付開始 13:15 開催 13:30~15:30	三の丸ホテル 〒310-0011 水戸市三の丸2-1-1(TEL 029-221-3011)
さいたま	9月 5日(土)	受付開始 13:15 開催 13:30~15:30	ラフレさいたま 〒330-0081 さいたま市中央区新都心3-2(TEL 048-600-5505)
高崎	9月12日(土)	受付開始 13:15 開催 13:30~15:30	高崎ワシントンホテルプラザ 〒370-0849 高崎市八島町70(TEL 027-324-5111)
新潟	9月13日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルオークラ新潟 〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53(TEL 025-224-6111)
世田谷	10月 3日(土)	受付開始 ※① 9:30/②12:30 開催 ①10:00~12:00 ②13:30~15:30	東京都市大学 世田谷キャンパス ※①知識工学部/②工学部 〒158-8557 世田谷区玉堤1-28-1(TEL 03-5707-0104)
等々力	10月 3日(土)	受付開始 12:30 開催 13:00~15:30	東京都市大学 等々力キャンパス 〒158-8586 世田谷区等々力8-9-18(TEL 03-5760-0104)
横浜	10月 3日(土)	受付開始 ※① 9:30/②12:30 開催 ①10:00~12:00 ②13:30~15:30	東京都市大学 横浜キャンパス ※①環境学部/メテオ情報学部(1・2・3年生)/②環境情報学部(4年生) 〒224-8551 横浜市都筑区牛久保西3-3-1(TEL 045-910-0104)
甲府	9月12日(土)	受付開始 13:15 開催 13:30~15:30	アーバンヴィラ古名屋ホテル 〒400-0032 甲府市中央1-7-15(TEL 055-235-1122)
長野	9月 5日(土)	受付開始 13:15 開催 13:30~15:30	ホテルサンルート長野 〒380-0825 長野市末広町1356(TEL 026-228-2222)
金沢	9月 6日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	金沢都ホテル 〒920-0852 金沢市此花町6-10(TEL 076-261-2111)
沼津	9月 6日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル沼津キャッスル 〒410-0032 沼津市日の出町1-1(TEL 055-923-1255)
静岡	9月 5日(土)	受付開始 14:30 開催 14:45~16:45	ホテルアソシア静岡 〒420-0851 静岡市葵区黒金町56(TEL 054-254-4141)
浜松	9月12日(土)	受付開始 13:15 開催 13:30~15:30	オークラクトシティホテル浜松 〒430-7733 浜松市中区板屋町1111-2(TEL 053-459-0111)
名古屋	9月13日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルキャッスルプラザ 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25(TEL 052-582-2121)
広島	9月 5日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78(TEL 082-502-1121)
福岡	9月 6日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル日航福岡 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-18-25(TEL 092-482-1111)

※世田谷・横浜会場は学部によって受付および開催時間が異なりますのでご注意ください。

TCU-COM
2015.August

no.
52

発行 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2227 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp